2023.09.29(金)　いわて T2 さみっと
県内定時制・通信制高代表が交流【盛岡タイムス】

県内定時制通信制高代表が交流

各校の魅力など紹介

〝横のつながり〟創出に期待

定時制、通信制高校だからこそ「できること」「ワクワクすること」が、きっとある―。盛岡市上田の杜陵高校（三田正巳校長）は28日、県内の定時制、通信制高校の代表が一堂に会し交流する「いわてT2（定通）さみっと」を初開催した。部活動が限られ、他校との交流が少ない生徒らに、横のつながりをもたらす場を作り、仲間意識の高揚に期待した。

県内9校から生徒、教職員ら約60人が参加。各校の魅力や生徒活動を紹介し合い、グループワークやランチ交流で親睦を深めた。

開会セレモニーでは、杜陵高定時制の佐藤雛歌さん（3年）、日野愛海さん（4年）がバイオリン演奏と歌を披露。生徒らが手拍子で盛り上げ、華やかな雰囲気で開会した。

杜陵高奥州定時制の及川泰人さん（2年）は、緊張をほぐすアイスブレイクを担当。「実は○○です」と趣味や特技を明かす自己紹介をユニークに進行し、一同を和ませた。

各校紹介では、一関一高定時制の三浦駿太さん（3年）、作並蒼葉さん（同）、佐々木康成さん（2年）が、釣山公園の桜や陶芸教室など、今年度前半の学校行事を紹介。レクげな様子を伝えた。

県内の定時制通信制高の生徒らがT2サミットで交流を深めた

スライドに映し、楽しい活動のバーベキューも

生徒らは八つのグループに分かれ、「こんな学校があったらいいな～未来の学校～」をテーマに、意見を出し合った。それぞれに配布された「仲間が増えるシート」を活用し、話した生徒同士がシールを貼って仲間の輪を広げた。

杜陵高定時制の平野天音さん（3年）は「学校では、自分の好きなことを学べるのがいいところ。自分は、日商簿記3級の資格を取得できた。生活習慣に合わせて勉強できる。緊張をほぐして交流したい」と期待していた。

教育の多様なニーズに伴って、通信制高校を選択する生徒の数は全国的に増加傾向にあり、三田校長は「少子化にあっても定時制、通信制のニーズは高まっていくと予想されている。時代の先端を行く学びの場になると思う。これまで一緒に集まる機会がなかったが、たくさんの人と話をしてほしい。在籍している学校の魅力を再発見して、自分たちのアイデアや動きで学校を変えていける気持ちになってほしい」と望んでいた。

※　盛岡タイムス 2023年9月29日(金)付　この記事は盛岡タイムス社の許諾を得て転載しています。